

さくらんぼマラソン全校親子応援に感謝！

校長 土屋 常 義

恒例となりました、PTA 総務部主催「さくらんぼマラソン全校親子応援」が、絶好のマラソン日和となった6月3日（日）に実施されました。沿道を埋め尽くした大森小学校の応援団の激励に、日本中のランナーが勇気づけられ、大会への参加を満足しているのではないのでしょうか。

大きな声の応援に笑顔で答え、時にはハイタッチをしてきたり、走るのをやめて握手を求めてくる選手もいたりして、その光景を見ているだけでも、このPTA主催企画の素晴らしさや、自分自身もこの活動に参加している

といった誇らしささえ感じました。中心となり企画してくださったPTA 総務部の皆さんは勿論のこと、全保護者の皆様、そして、この応援の際にご協力くださいました地域の方々にも心より感謝いたします。

今後も、「人と人とのつながりを実感できる体験」を大切にして、子どもたちの心育を支援していきたいと思っておりますので、今後とも、ご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。



応援を終えた後の「子ども達や保護者の皆様の表情、そして一言に感動」

さくらんぼマラソンの応援はとても暑い時間帯となりましたが、活動を終えた子ども達や保護者の方々の表情はとても清々しく、たくさんの笑顔も見られました。そして、「楽しかった」「応援して良かった」「来年は、自分が走ってこの応援をしてもらいたい」等……。思いや表現は様々ですが、生き生きとした表情で話してくれる姿にとても感動をしました。

このような表情や思いは、実際に活動に参加（経験）した人にしか言えない感想です。経験の内容は「成功（満足）体験」「失敗（不満足）体験」などそれぞれでありますが、その経験を経て、次の一歩につながる「実りのある時間」を過ごしてくれたのだらうと思うと、とてもうれしくなります。

「様々な体験」は、それをやり終えたとき、子どもの心に「確かな自信」を育んでくれます。そして、「活動に参加した人にしか分からない感動」が生まれ、さらに「どうして」「なぜ」といった新たな疑問や「もっとこうしてみたい」「これはどうなんだろう」といった深い学びにもつながっていくものです。

間もなく学校も夏休みに入ります。ぜひ、子ども達には「確かな学び」につながる様々な活動へのチャレンジをしてほしいと思うとともに、保護者の皆さまには、子ども自身が「新しい一歩」を踏み出せるように、そっと背中を押してチャレンジへの支援をしていただければと思います。


夏休みは、7月26日（木）の振替え休日を含め、8月20日までの27日間です。ぜひ、ご家族で、予定を話し合い、素敵な学びと思い出の多い夏休みとなることをご祈念申し上げます。

この度のさくらんぼマラソン大会の応援でも、選手が目の前を走り抜ける間、休みなく「拍手」をし続ける姿が見られました。また、学校行事や授業の中でも、様々な場面で拍手をしている場面を見ることがあります。

「拍手」は日本では明治時代からされるようになったようですが、手を叩くことにより賞賛(ほめる)・歓迎(こころよく迎える)・感激・感謝の時などを表現する行動とされています。

先月中旬に2泊3日で実施された5年生の少年自然の家での宿泊体験学習でも、一緒に活動してきた仲間の言動に、自然な形で拍手をおくるお友達の姿に、心温かくなる感動を覚えました。

これは、この体験学習期間中、様々な場面で、「喜びや悩みなどを共有し、それを自信にしたり、乗り越えたりしたからこそ自然のとれた行動である」と思うと、とても嬉しくなりました。

間もなく夏休みに入ります。子ども達には、心にゆとりのあるこの休み期間中、日頃できない活動でチャレンジして、・・・』

そんな心のゆとりが、「お友達に素直に拍手が送れる」穏やかさにつながっていくのではないかと考えている今日この頃です。

(体験)

『体験』には「成功体験」もあれば「失敗体験」もありますが、結果はどうであれ、その体験での学びは、「次の一步につながる貴重な経験」となり、「確かな自信」にもつながるものです。

皆さんの前には幾つもの乗り越えなければならないぜひ、「自分の興味関心の心」を大切に、様々なことにしてくれる前向きに挑戦（取り組む）する皆さんの姿を応援しています。

「雨もまた自然とは言うものの、晴れが一番だね！」

様々な団体利用が予定されている時、天候によっては一喜一憂・・・、私たちスタッフも出来るだけ利用する団体の予定がスムーズに実施できるようにしてあげたいと思っても自然には逆らえませんが、でも皆さん考えてください。学校においても、それぞれの家でも、全てが予定通り進むというばかりではなりません。大切なのは「その状況をどのようにとらえ、どのように対応していくか」が大切なのです。

「前向き」という言葉がありますが、その意味は、「前を向いている」「前を見ている」ということだが、現実的には、気持ちは前を向いているが、実際に行動を起こすかどうかは本人次第ともいえる。ぜひ、皆さんには、次につながる「一步」を踏み出す「勇気と積極性」を期待したい。